

# TOTO

## トール・ウォールキャビネット



LTSZA015・025・030・045型

LWZA015・025・030・045型



商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

### 1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。



表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。		ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	----------------------	---	-------------------------


- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

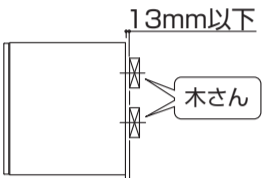
**警告**

<p><b>電源コードを傷つけない</b> 漏電および火災の原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p><b>浴室など湿気の多い場所へ設置しない</b> 木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p>
---	---



**警告**

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強するキャビネットが転倒、落下しけがをするおそれがあります。

 必ず実行



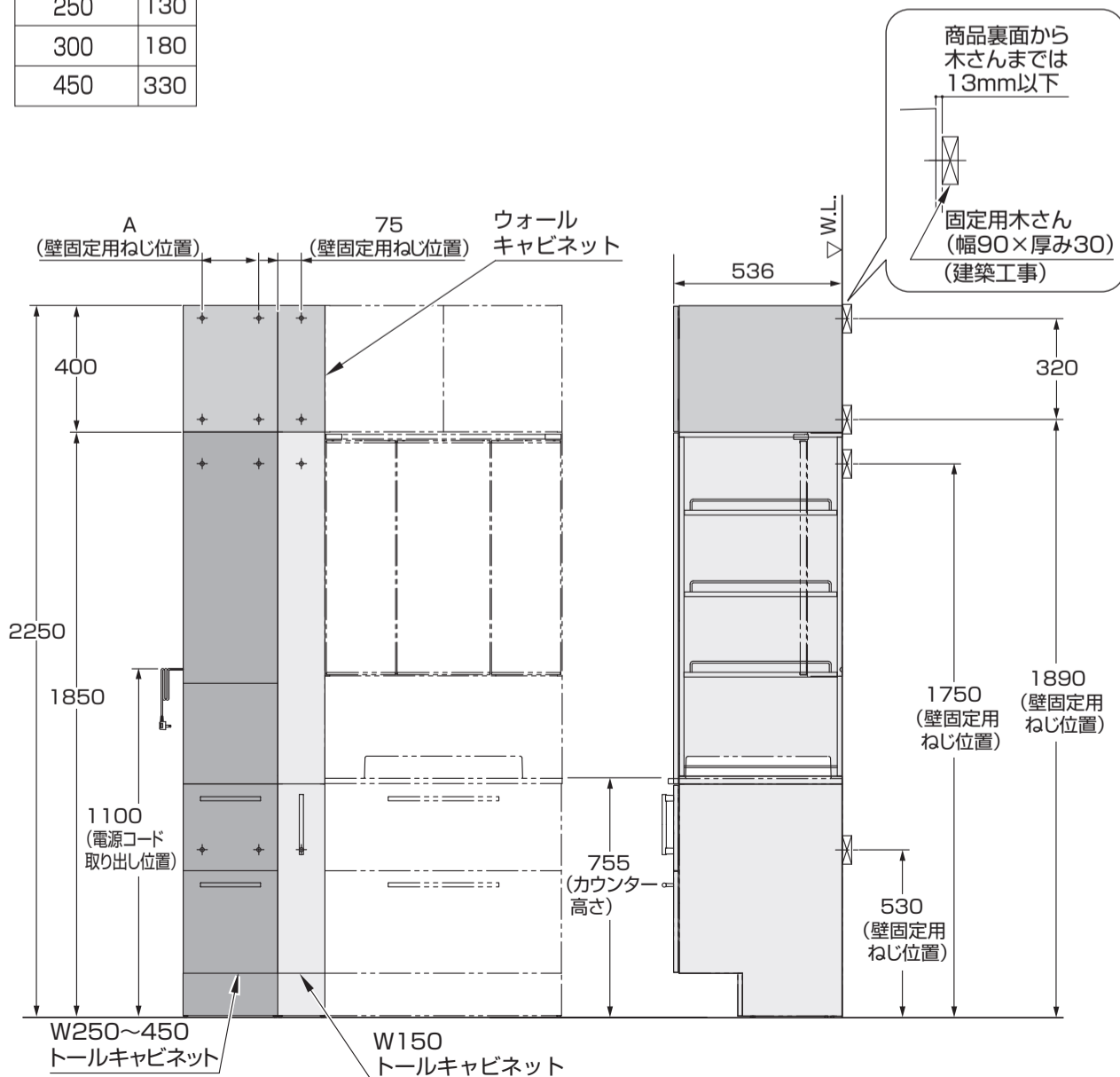
**注意**

<p><b>洗面ボウルの上のにらない</b> 故障及び転落・転倒してけがをするおそれがあります。</p> <p> 禁止</p>	<p><b>取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する</b> 使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。</p> <p> 必ず実行</p>
--	---

### 2) 設置寸法

● 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。

キャビネット 間口寸法	A
250	130
300	180
450	330



### 3) 設置上のご注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤する原因になりますので設置しないでください。特に浴室には、設置しないでください。

**重要**  
天井フィラーを取り付ける場合は、キャビネット設置前に天井フィラーの組立・設置説明書をご覧ください。

- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

### 4) 取り付け条件

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。  
※ウォールキャビネットは洗剤などが収納されるとかなりの重量になりますので地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。  
(木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJIS規格品の合板を強固に取り付けてください。) (建築工事)

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。  
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

## 5) 付属部品明細

### ●ウォールキャビネット

※ 取り付け要領… **8**

名称	数量 奥行540	数量	
		奥行540	
		150サイズ	150サイズ以外
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	2本	2本	4本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)	3本	3本	4本
化粧キャップ	5個	5個	8個
パッキン (厚み2mm)	1個	1個	1個

### ●トールキャビネット (ノーマルタイプ)

※ 取り付け要領… **7**

名称	数量	数量		
		奥行540		
		150サイズ	250サイズ	300・450サイズ
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	1本	2本	2本	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)	2本	2本	2本	2本
仕切板	2枚	—	—	—
化粧キャップ	3個	4個	4個	4個
すき間パッキン (厚み6mm)	1個	1個	1個	1個
パッキン (厚み2mm)	—	1個	1個	1個
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	1本	2本	2本	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)	—	2本	2本	2本
化粧キャップ	1個	4個	4個	4個
穴ふさぎ用 ※2 化粧キャップ	4個	—	—	—

### ●トールキャビネット (ランドリータイプ)

※ 取り付け要領… **7**

名称	数量
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)	2本
化粧キャップ	4個
網かご	1個
パッキン (厚み2mm)	1個
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	2本
連結用ねじ ※1 (φ3.9×28)	2本
化粧キャップ	4個
籐かご	1個
すき間パッキン (厚み6mm)	1個

※1: 隣接するキャビネットがない場合は、使用しません。  
 ※2: 壁及びキャビネットが隣接する場合は、使用しません。

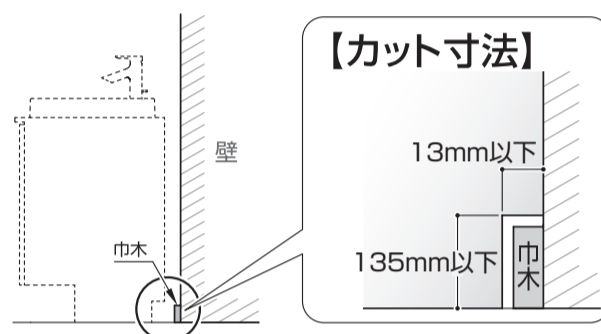
## 6) トールキャビネット品番明細

ノーマルタイプ		
セット品番	フロアキャビネット品番	ミドルキャビネット品番
LTSZA015ANL/R	LBZA015ANG	LLZA015GNL/R
LTSZA025ANL/R	LBZA025ANG	LLZA025GNL/R
LTSZA030ANL/R	LBZA030ANG	LLZA030GNL/R
LTSZA045ANL/R	LBZA045ANG	LLZA045GNL/R
ランドリータイプ		
セット品番	フロアキャビネット品番	ミドルキャビネット品番
LTSZA045ACL/R	LBZA045ACL/R	LLZA045GCL/R

## 7) キャビネットを取り付ける前に

### 確認1 後壁に巾木はありますか?

→ 壁に巾木がある場合は、下記寸法以下であればキャビネット後部及び台輪後部をカットできます。

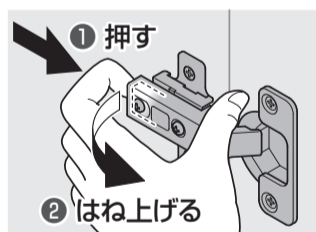


## 8) トールキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

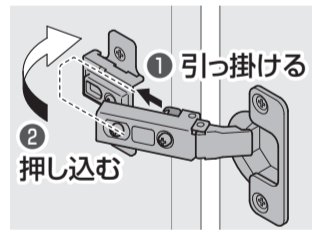
### 1) キャビネットの扉・引き出しを外す

- 外した扉・引き出しは傷がつかないように養生等をして保管ください。
- 取り付け完了後、元に戻してください。
- 下部に取り付けてある転倒防止材は、扉・引き出しを取り外すまで外さないでください。

〈開き扉の取り外しかた〉

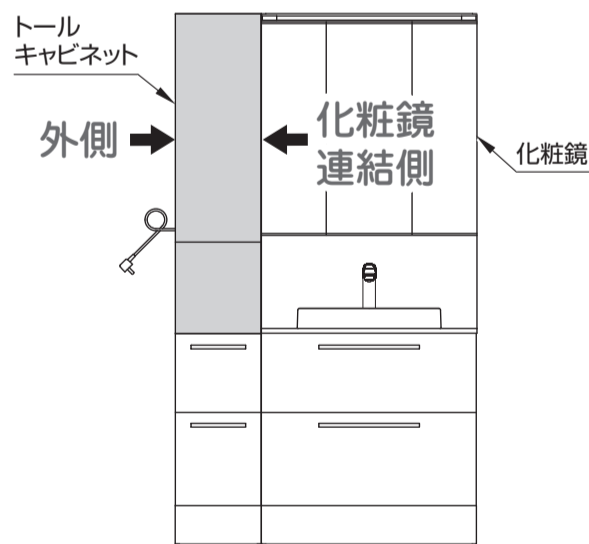


〈開き扉の取り付けかた〉

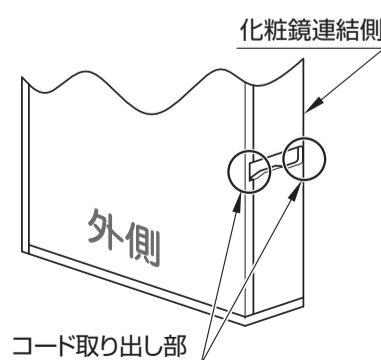


### 2) 電源コードの取り出し

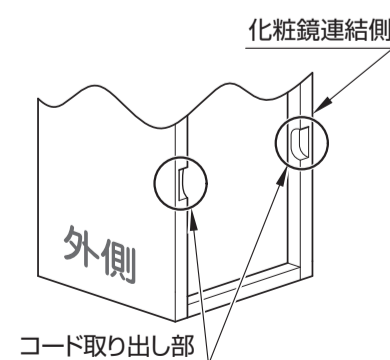
- トールキャビネットの裏を電源コードが通る場合は、トールキャビネット裏面を化粧鏡のコード位置に合わせてマイナスドライバーで化粧板側(外側)から突き破ってください。



【150 サイズの場合】



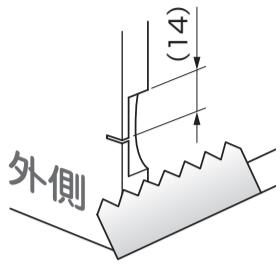
【250~450サイズの場合】



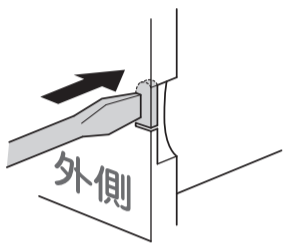
## 8) トールキャビネットの取り付け (つづき)

### 〈外側〉

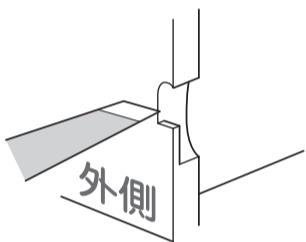
- ① 切り欠き部に合わせ、のこぎりで切り込みをいれる  
 ※外側は電源コードに合わせて切り欠いてください。



- ② 切り欠き部の上側をマイナスドライバーで化粧板側(外側)から突き破る  
 ※内側から突くと化粧板が欠けます。

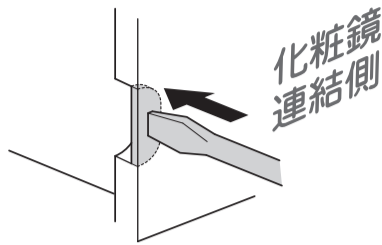


- ③ 突き破った部分をナイフで仕上げる

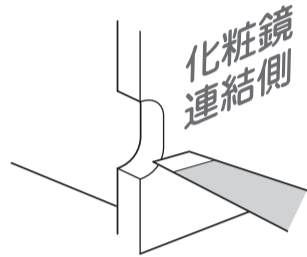


### 〈化粧鏡連結側〉

- ① 切り欠き部をマイナスドライバーで化粧板側(化粧鏡連結側)から突き破る  
 ※内側から突くと化粧板が欠けます。

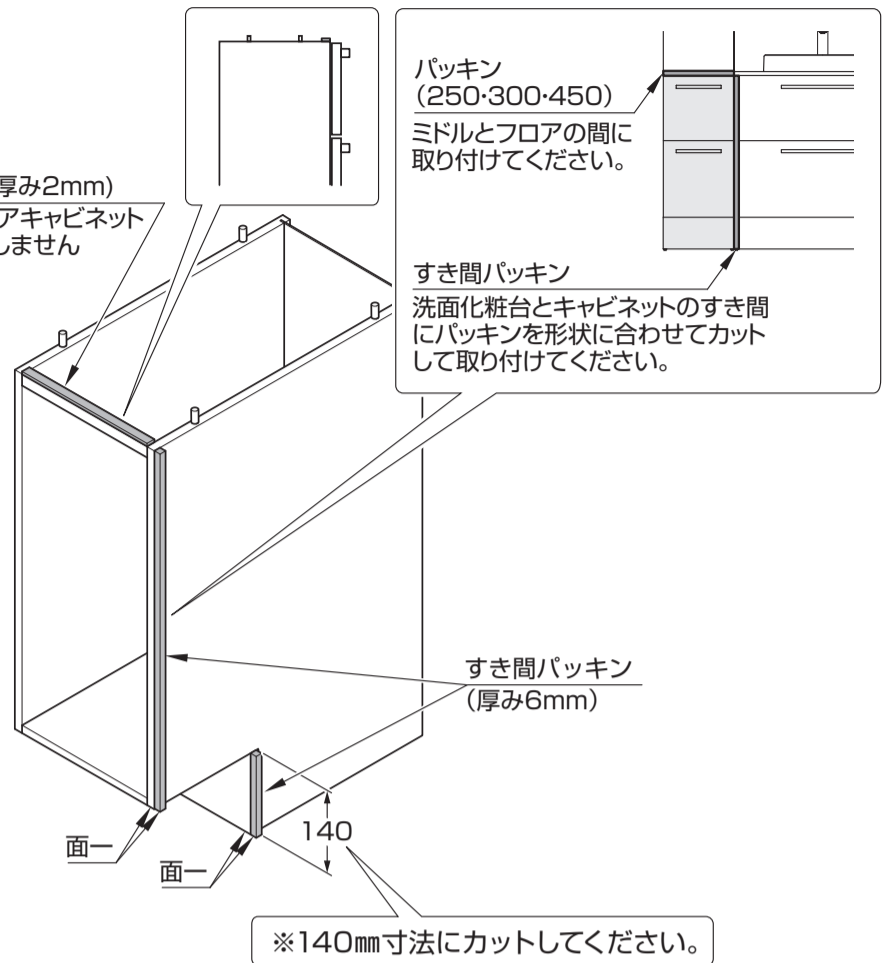


- ② 突き破った部分をナイフで仕上げる



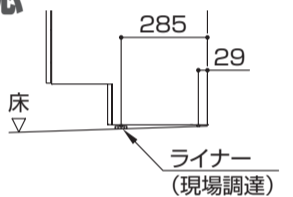
## 3) パッキンの取り付け

パッキン(厚み2mm)  
 150フロアキャビネット  
 には使用しません



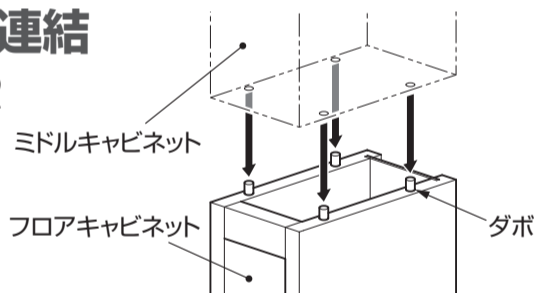
## 4) キャビネットの仮置き・水平確認

キャビネットを設置位置に仮置きする。  
 床の水平が出ていない場合は、ライナー(現場調整)を入れて調整する。  
 スペースで調整する前に、転倒防止の包装材料を取り外してください。



## 5) ミドルキャビネットの連結

- 先にフロア部を壁固定し、フロア部のダボにミドル部のダボ穴を合わせてセットしてください。



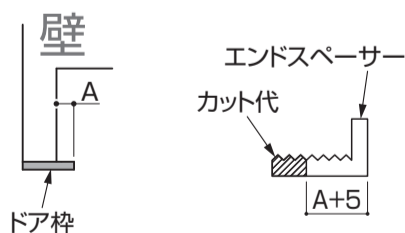
## 6) エンドスペーサーの取り付け(別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。  
 (トールキャビネット用エンドスペーサー…LEZA030GTT1G)

- (1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。  
 ※エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。  
 ※エンドスペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

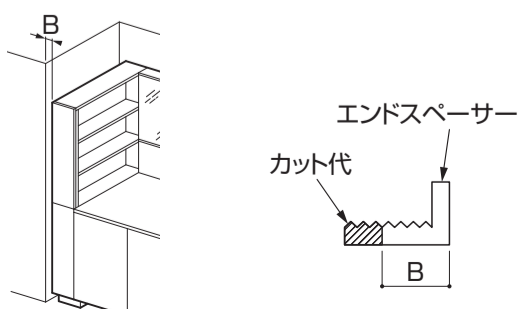
### 〈ドア枠がある場合〉

- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。



### 〈すき間がある場合〉

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。



固定用木ねじ(7本)  
 (φ3.5×13)  
 ※エンドスペーサーに  
 付属されています。

固定用木ねじ(2本)  
 (φ3.5×13)  
 ※エンドスペーサーに  
 付属されています。

- (2) キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、固定ねじ取り付け位置をけがく。  
 (3) けがき位置に下穴(φ2.5×深さ5)を開ける。※下穴を貫通させないこと。  
 (4) エンドスペーサーを下穴に合わせ、固定ねじ(φ3.5×13)を取り付ける。  
 その際、エンドスペーサーの着脱ができるようねじの高さを調節してください。  
 (5) 一旦、エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、前から差し込んでください。

エンドスペーサーの長さは648mmです。  
 50mmカットし、寸法を合わせてください。

キャビネットと前面および下面を合わせてください。

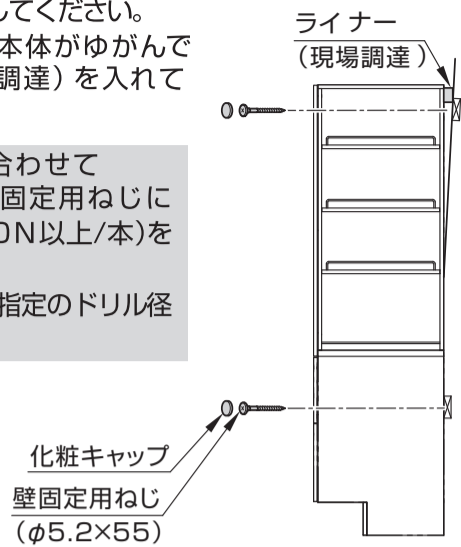


## 8) トールキャビネットの取り付け (つづき)

### 7) キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじで壁に確実に固定してください。
- ※ 壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、ライナー (現場調達) を入れて垂直に固定してください。

※ コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ (引抜き強度:1000N以上/本) を打ち込んでおいてください。  
(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

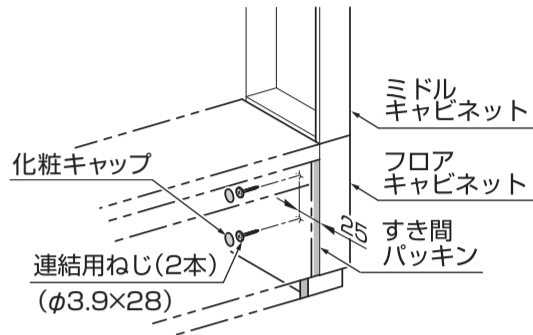


### 8) キャビネットの連結 (隣接するキャビネットがある場合)

- 連結用ねじで固定する時は、下穴を設けてください。
- ※ トールキャビネットは、水かかりでおこる木部変形を防ぐため、コーナーカバーを取り付けています。トールキャビネット同士で連結するとキャビネットにコーナーカバーが挟まれ、すき間が発生します。

#### 〈洗面化粧台と連結する場合〉

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじ (2本) でキャビネットを固定してください。



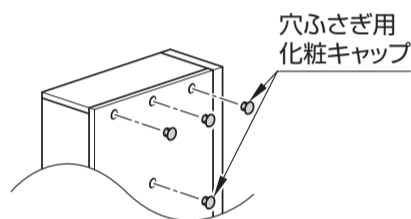
#### 〈洗面化粧台以外と連結する場合〉

- キャビネットの内側より付属の連結用ねじ (4本) で隣接するキャビネットと固定してください。



#### 〈間口 150 サイズの場合のみ〉

- 壁及びキャビネットが隣接しない場合は、付属の穴ふさぎ用化粧キャップ (4個) を取り付けてください。

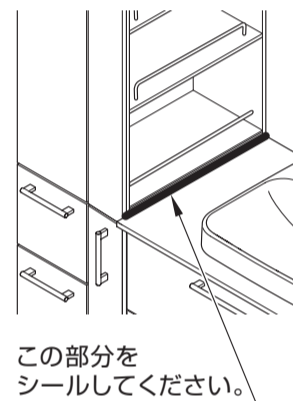


### 9) 洗面化粧台とすき間処理

- カウンターとトールキャビネットの突き合わせ部をシリコンシール材でシールしてください。

**注意**

**必ずシールをする**  
シールしないと突き合わせ部から水が浸入し、必ず実行 キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



## 9) ウォールキャビネットの取り付け (番号順に取り付けてください。)

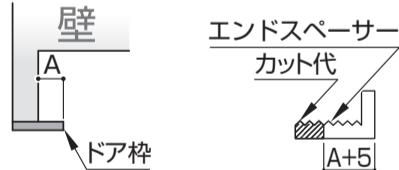
### 1) エンドスペーサーの取り付け (別売品)

- 設置レイアウトよりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で別売品のエンドスペーサーを取り付けてください。  
(トール用ウォールキャビネット用エンドスペーサー...LEZA030GWT1G)

(1) 寸法を測定し、エンドスペーサーをカットしてください。  
※ エンドスペーサー幅は最小5mm、最大30mm対応可能です。  
※ エンドスペーサーは、カッターまたはシャーパーでカット可能です。

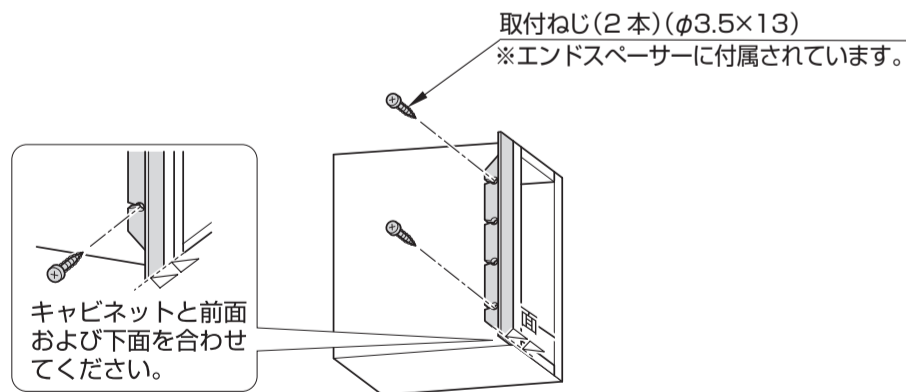
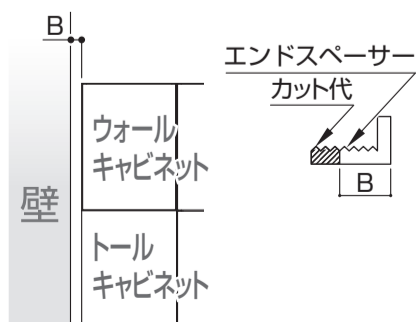
#### 〈ドア枠がある場合〉

- A寸法を測定し、エンドスペーサーを(A+5)mmにカットしてください。



#### 〈すき間がある場合〉

- エンドスペーサーを取り付けるキャビネットを所定の位置に仮置きしてください。
- 壁とのすき間B寸法を測定し、エンドスペーサーをB寸法にカットしてください。
- 仮置きしたキャビネットを取り外してください。



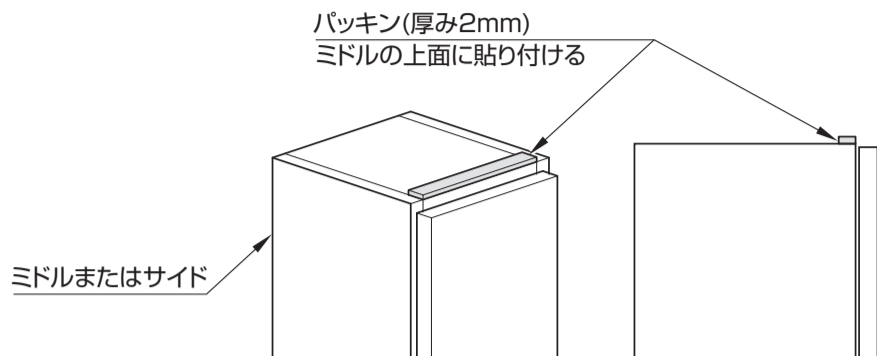
#### 〈トール用ウォールキャビネットの場合〉

- (2) キャビネットにエンドスペーサーを合わせ、ねじ取り付け位置をけがいてください。
- (3) けがき位置に下穴 (φ2.5×5) をあけてください。
- (4) エンドスペーサーを下穴に合わせ、取付ねじを取り付けてください。  
その際、エンドスペーサーの着脱ができるよう取付ねじの高さを調節してください。
- (5) エンドスペーサーを取り外し、キャビネットを壁固定したあと、差し込んでください。

## 9) ウォールキャビネットの取り付け (つづき)

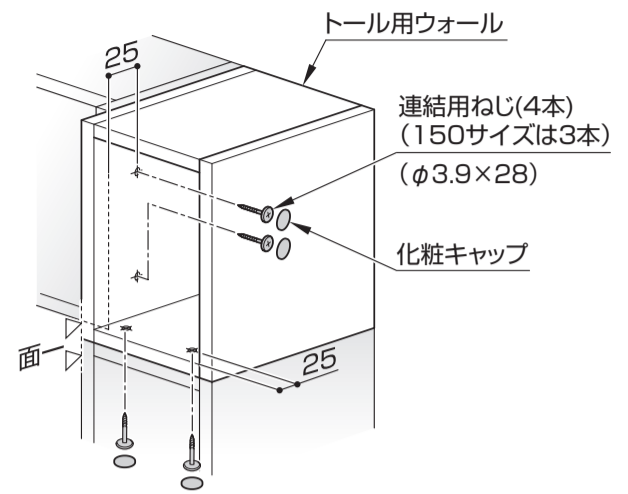
### 2) パッキンの取り付け

〈ウォールキャビネットの下にミドルキャビネットがある場合〉



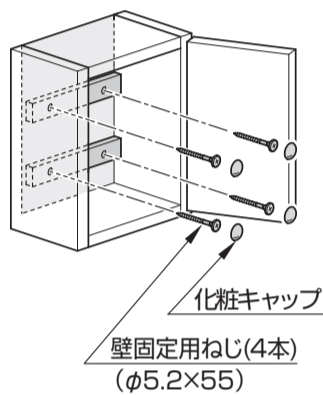
### 4) キャビネットの連結

- 隣接するキャビネットの内側から付属の連結用ねじでキャビネットを固定してください。
- ※隣接するキャビネットと前面を面一にてすき間のないように固定してください。
- ※取付ねじで固定する時は、下穴を設けてください。



### 3) キャビネットの取り付け

- 付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。
- ※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付きますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。
- ※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度: 1000N以上/本)を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。(プラグ用の下穴は必ず使用プラグ指定のドリル径であけてください。)



## 10) 取り付け完了後の確認と清掃

※扉・前板の傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整をしてください。

- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。

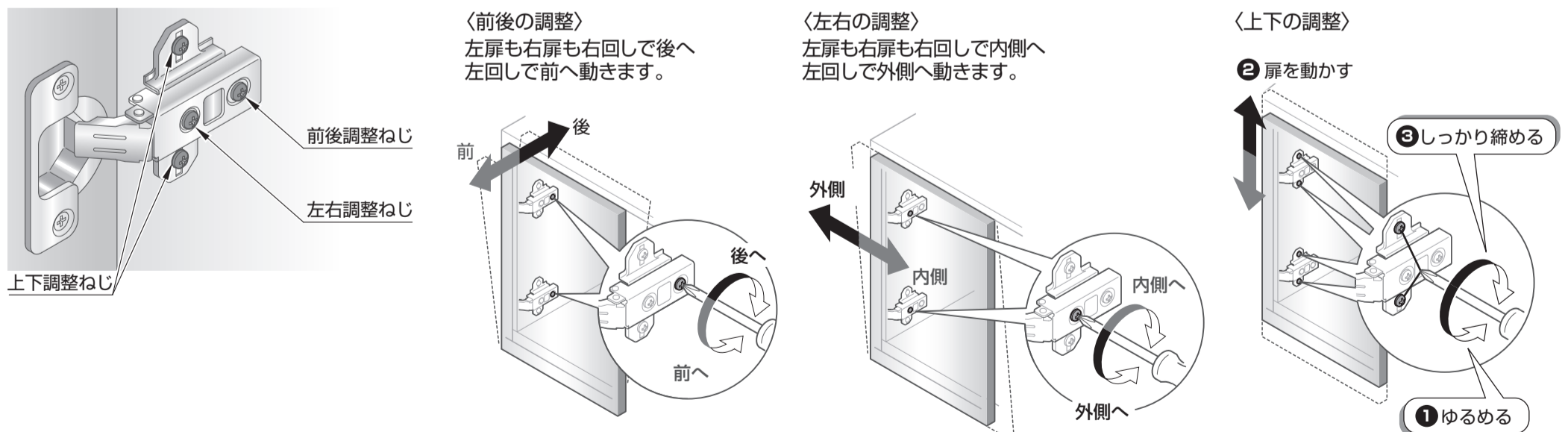
#### 【調整要領】

#### ⚠ 注意

❗ 調整後、上下調整ねじをしっかりと締め付けてゆるみのないことを確認する  
必ず実行 扉が落下してけがをするおそれがあります。

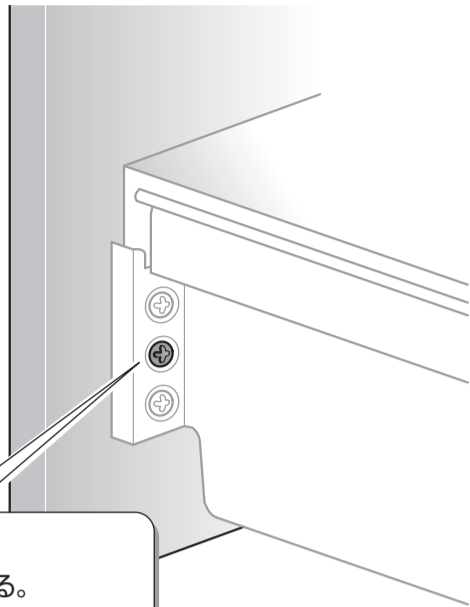
🚫 電動ドライバー禁止  
部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

〈扉の丁番調整のしかた〉

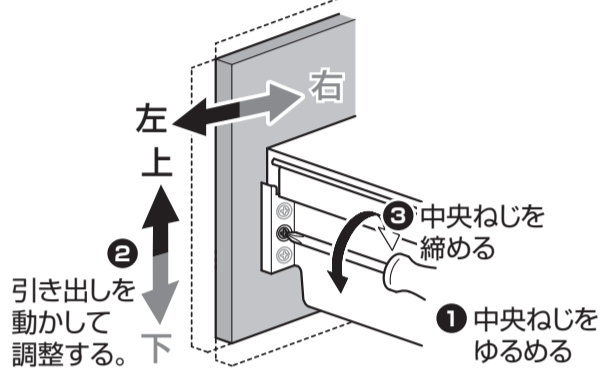


# 10) 取り付け完了後の確認と清掃 (つづき)

## 〈樹脂製引き出し〉



〈上下・左右のずれ〉  
中央ねじ(左右2カ所)をゆるめて調整する。  
※±2mm調整できます。  
(上下のねじはゆるめない。)

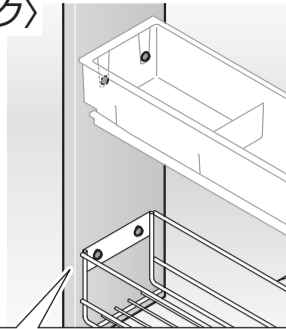


### ⚠ 注意

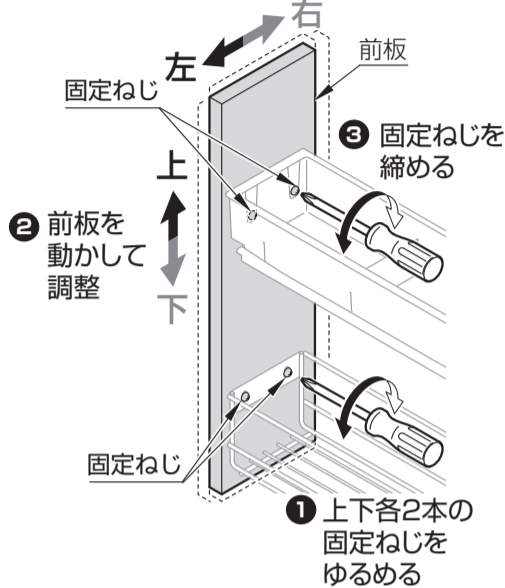
調整後は必ず、中央ねじ(左右2カ所)を締め付ける  
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

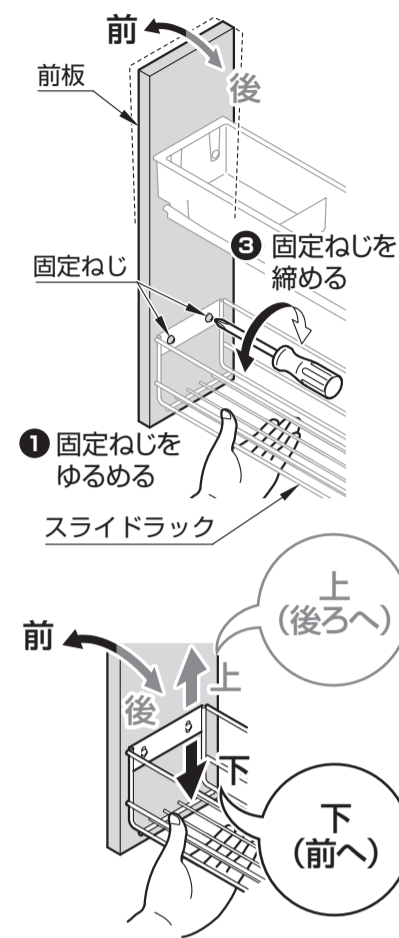
## 〈スライドラック〉



〈上下・左右のずれ〉  
前板で調整する。  
※±2mm調整できます。



〈前後のずれ〉  
スライドラックで調整する。  
※±2mm調整できます。



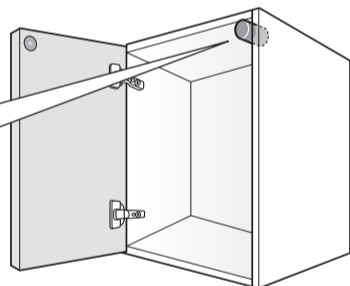
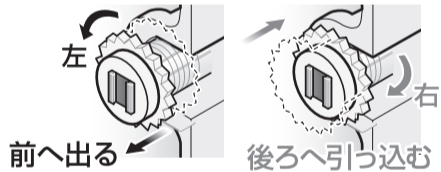
### ⚠ 注意

調整後は必ず、固定ねじを締め付ける  
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

## 〈プッシュラッチの調整〉

〈前後のずれ〉  
プッシュラッチを回して調整する。  
※扉が開かない場合は、左へ回してください。



- 扉が開閉するか確認してください。
- 棚受けダボの抜けがないか確認してください。
- 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水で湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

### 重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は、必ずカーテンなどで遮ってください。